

商業科（情報処理）学習指導案

月日	6月12日（火）
時限	4時限

商業科	1年2組	電算室	指導者	佐藤智久	
単元名	第2章 表計算ソフト活用の基礎		教科書	情報処理	
			発行所	東京法令出版	
単元目標	表計算ソフト活用の基礎を理解させる				
単元の評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	表計算ソフトウェアでデータを効率よく処理するための機能について関心を持ち考えようとしている。	問題を分析して、適切な表の形式や関数を選択し、問題解決に必要な表を作成することができる。	表計算ソフトウェアの基本的な操作をもとに条件にあう式や関数を用いて表を作成することができる。	基本的な関数の機能を理解している。	
指導計画	第2章 表計算ソフト活用の基礎【1】～【20】 【7】判定（IF関数について）・・・1時間				
本時目標	条件を判定する関数（IF）の利用方法を理解し、活用できるよう身につける				
準備・資料	教科書P54～55 実教出版 情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報3級 P55				
	指導内容	学習活動	学習形態	時間(分)	指導上の留意点 (教師の支援)
導入	前時の復習	・前時のファイルを読み出し、確認をしながら関数を答える。 ・黒板に注目し、説明を聞く。	個別全体	5	・発問に対する解答を板書する。 ・前時の関数を確認し、新たな関数を学び身につけようとしている。 (関心・意欲・態度)
	本時の説明				
展開	条件の判定結果について発問	・結果を答える。	全体個別	35	・論理式、真の場合、偽の場合の3つの要素が必要であり、全部そろわないとエラーになる可能性があることを理解させる（知識・理解） ・机間指導を行い個別の躓きに対応する。（技能） ・比較演算子の利用方法を理解させる ・論理式や計算式は半角入力が原則であることを理解させる ・机間指導を行い個別の躓きに対応する。（思考・判断・表現）（技能）
	条件の判定を求め関数を入力し複写させる	・モニターを見ながら教師と同じ操作を行い、関数を入力する。			
	問題集P55を解かせる	・問題を通して本時の内容が理解できたか確認する。			

まとめ	実習問題の解答を提示し，説明する	・解答と説明をもとに確認する。	全体	10	・自分の解答が正しいか確認させる。 (思考・判断・表現)
評価	1. I F 関数を理解し，活用できるよう身につける。(知識・理解) (技能) 2. 実習問題を完成させる。(技能)				